

市民意識の経年変化（平成 21 年度調査との比較）

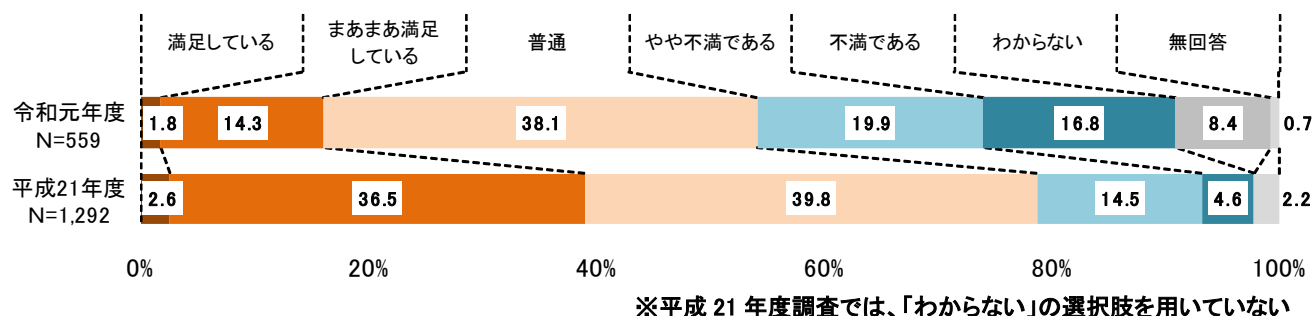
1. 市の政策全体について

政策全般への“満足”評価は減少（－23.3％）し、“不満”が増加（＋17.6％）

裾野市の政策全般についての満足度は、平成 21 年度と令和元年度のいずれも「普通」の割合が最も高い。

“満足”（満足している＋まあまあ満足している）が－23.3％（39.1％→16.1％）、“不満”（やや不満である＋不満である）が＋17.6％（19.1％→36.7％）となっており、10 年前よりも評価は低くなっている。

■政策全般についての満足度の比較



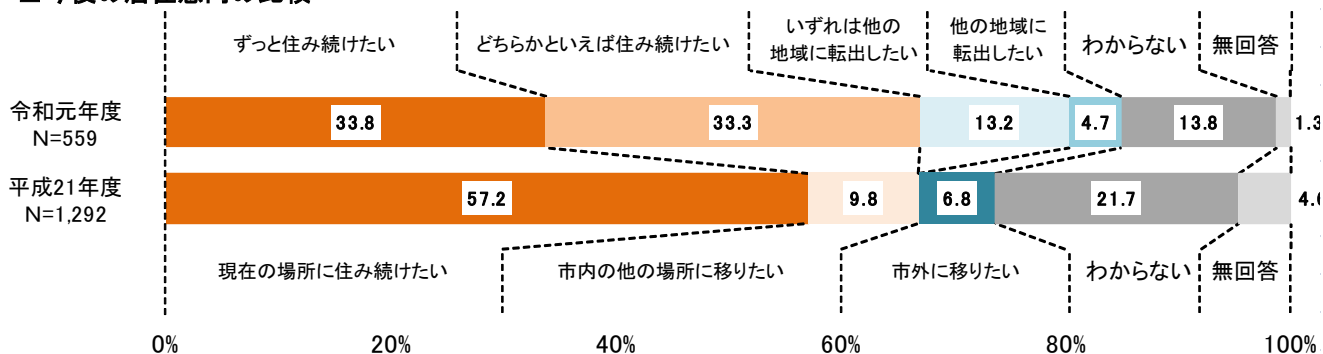
2. 定住意向

“市内定住”意向はほぼ同じだが、“市外転出”意向が増加（6.8％→17.9％）

これからも裾野市に住み続けたいかについては、令和元年度調査の“住み続けたい”（ずっと住み続けたい＋どちらかといえば住み続けたい）は 67.1％で、平成 21 年度調査の“市内に住み続けたい”（現在の場所に住み続けたい＋市内の他の場所に移りたい）の 67.0％とほぼ同じ割合となっている。

一方、令和元年度調査の“転出したい”（いずれは他の地域に転出したい＋他の地域に転出したい）は 17.9％で、平成 21 年度調査の「市外に移りたい」の 6.8％と比べて＋11.1％となっている。

■今後の居留意向の比較



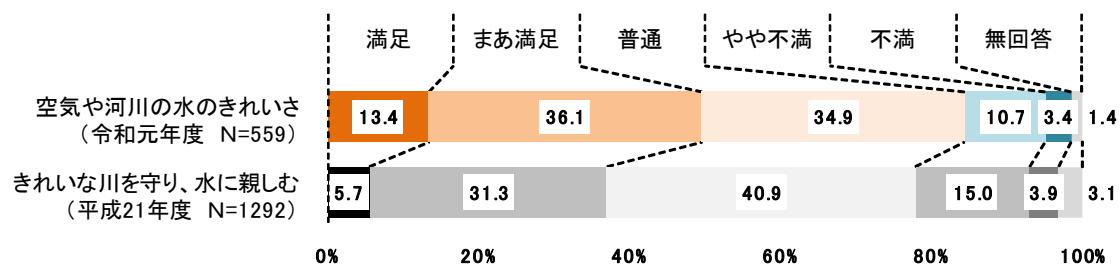
3. 裾野市が行っている取り組みや生活環境に対する満足度

令和元年度と平成 21 年度とでは取り組みの具体的な内容や文言が異なっているため、なるべく内容が近いものを取り上げて比較し、特徴的な項目を抽出した。（グラフカラーは本年度、グレースケールは平成 21 年度）

“満足”が増加し、“不満”が減少した項目

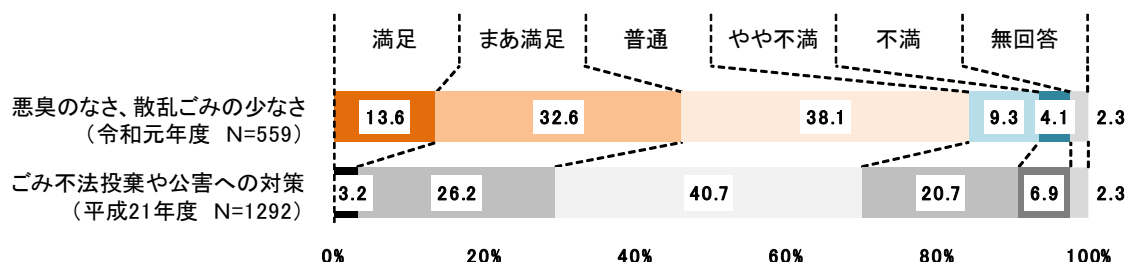
◎ 空気や河川の水のきれいさ

■ 河川の水のきれいさの満足度に関する比較



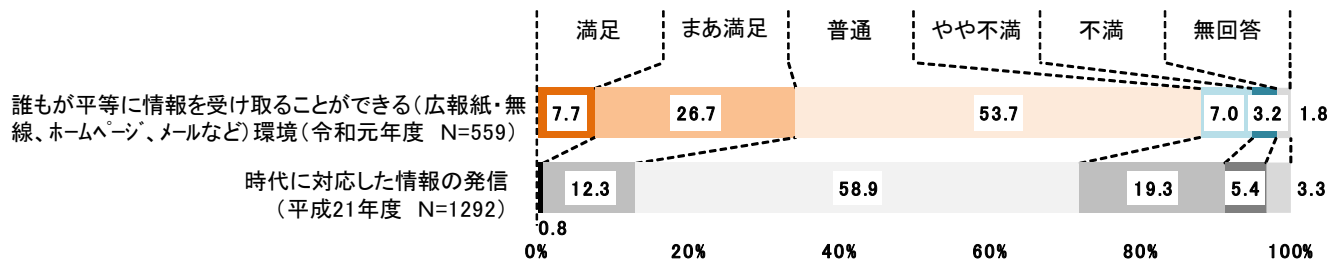
◎ 悪臭のなさ、散乱ごみの少なさ

■ 悪臭やごみなどの環境衛生に関する満足度の比較



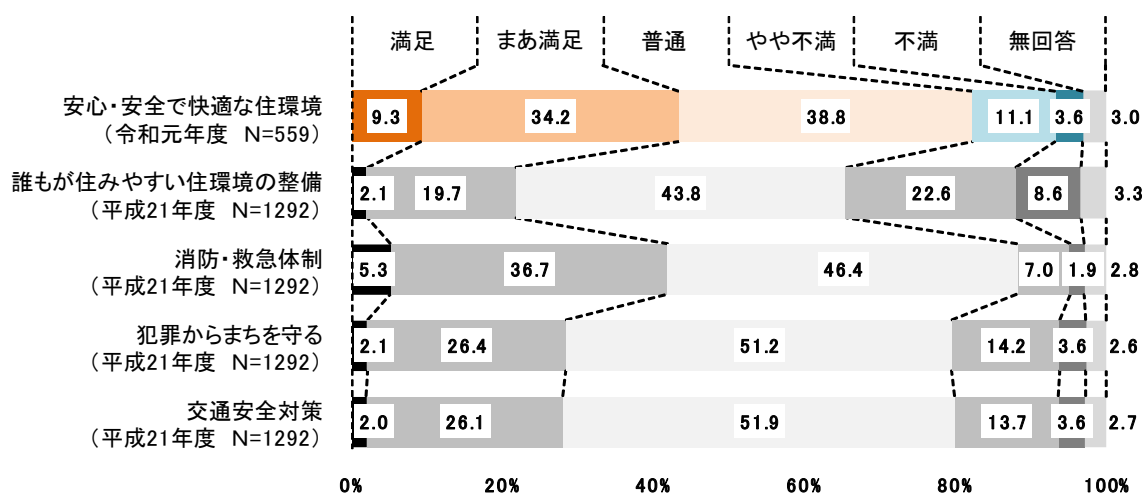
◎ 誰もが平等に情報を受け取ることができる環境（広報紙・無線、ホームページ、メールなど）

■ 市からの情報提供に関する満足度の比較



◎ 安心・安全で快適な住環境

■ 安心・安全で快適な住環境に関する満足度の比較

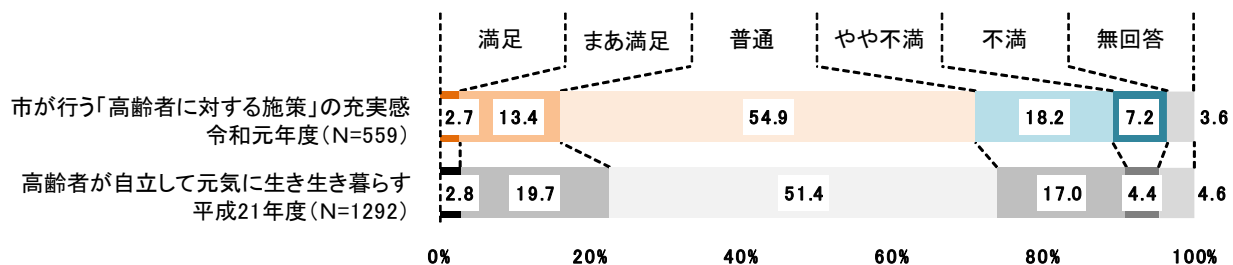


※「安心・安全で快適な住環境」に関して平成21年度調査では「消防」や「交通安全」など細分化して質問していたため並列して比較

“満足”が減少し、“不満”が増加した項目

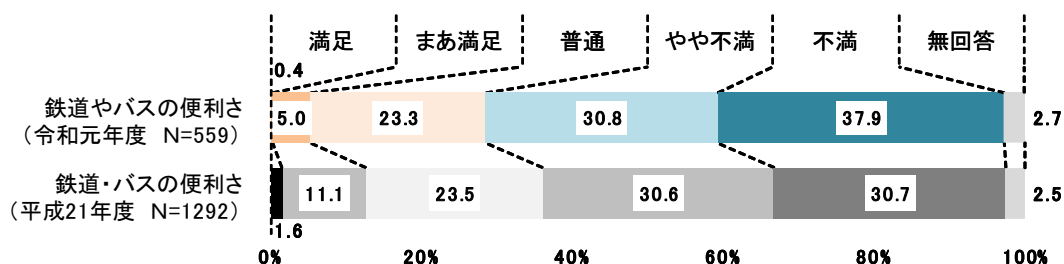
▼市が行う「高齢者に対する施策」の充実感

■ 高齢者施策に関する満足度の比較



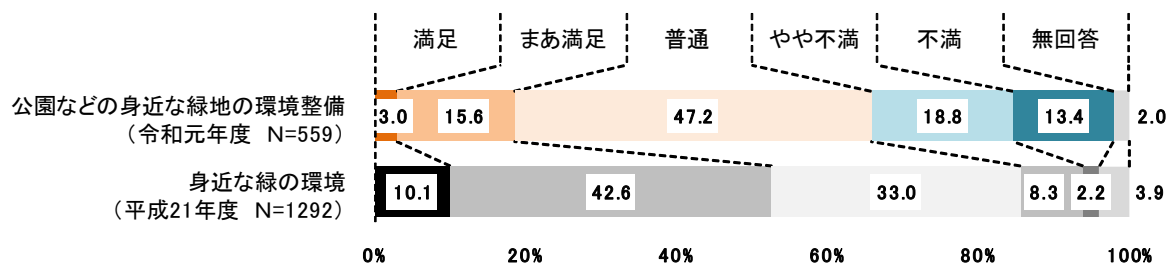
▼鉄道やバスの便利さ

■ 公共交通に関する満足度の比較



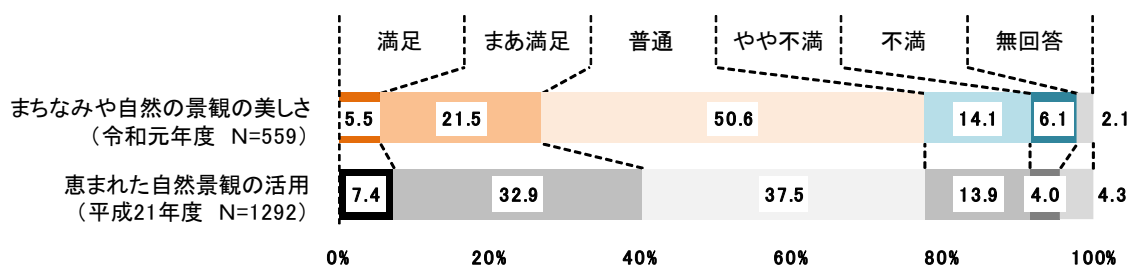
▼公園などの身近な緑地の環境整備

■身近な緑地環境に関する満足度の比較



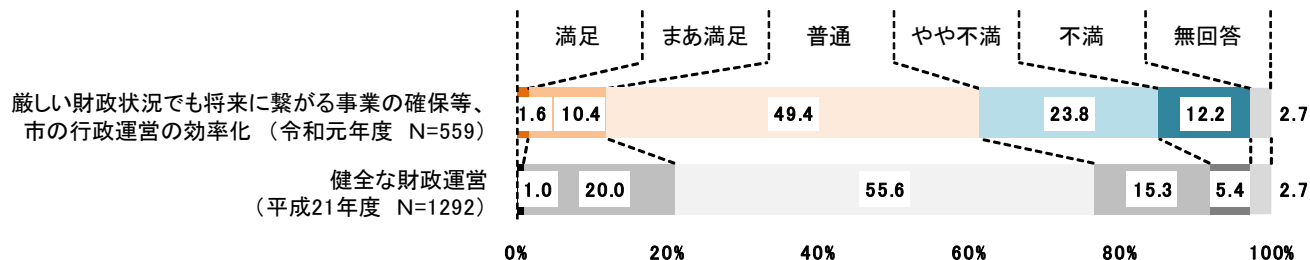
▼まちなみや自然の景観の美しさ

■自然の景観に関する満足度の比較



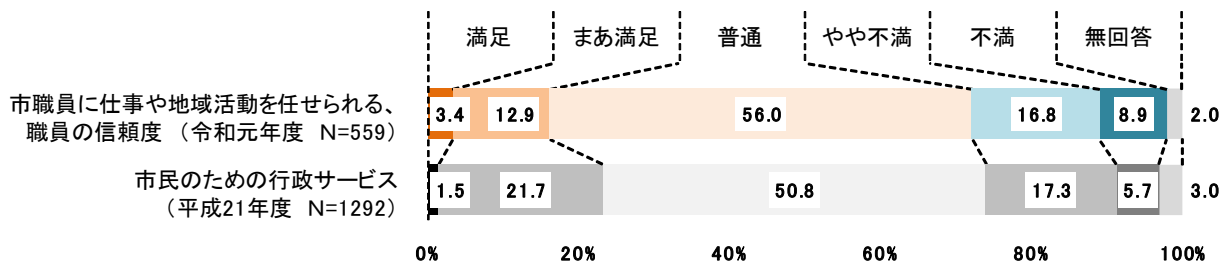
▼厳しい財政状況でも将来に繋がる事業の確保等、市の行政運営の効率化

■財政運営に関する満足度の比較



▼市職員に仕事や地域活動を任せられる、職員の信頼度

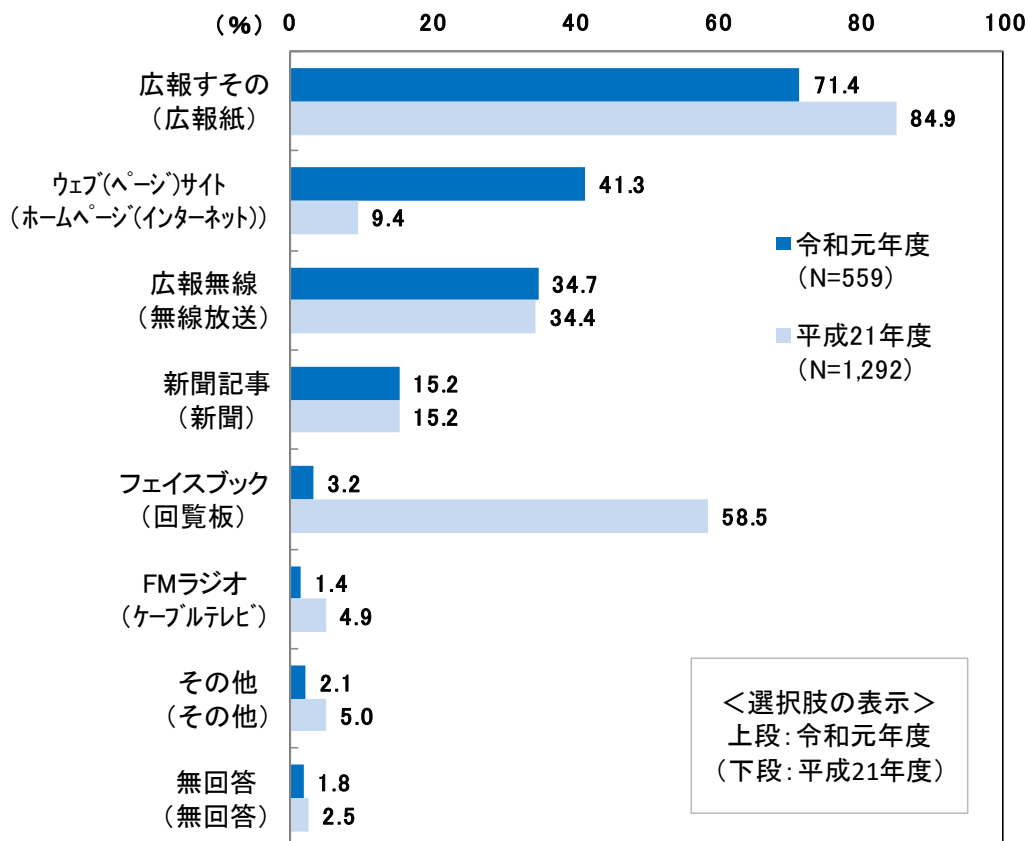
■市職員の信頼度に関する満足度の比較



4. 市の情報の入手方法

“広報すその”からの情報入手が最も多いものの、ウェブサイトからの入手も大きく増加

■市の情報の入手方法の比較（複数回答）



※令和元年度と平成21年度では選択肢が合致しないため、内容が類似するものまたは代替のものを比較対象として表示した。